

平成29年度 第2回 学校運営協議会 記録

男鹿市立潟西中学校

日 時 平成29年9月28日（木） 13:30～15:00
会 場 校長室

□協議会（司会：教頭）

(1) 学校経営説明（基本方針及び具体的取組）（校長）

- ・これまでの学校運営の経過説明

(2) 教職員及び生徒による学校評価結果の説明（教頭）

(3) 熟議（学校運営協議会委員）

「地域が求める潟中生の姿」

(1班)

○ふるさとを大切に

- ・ふるさとのよさを実感できる人に
- ・自分が住んでいる地域を大切に思う
- ・この地域の未来に希望をもつ
- ・いつまでもふるさとのことを大切に思う人に
- ・地域の魅力を誇りに思う
- ・地元を愛する子
- ・地域活動に積極的に参加

○基本

- ・はいという返事をきちんとできる子ども
- ・人の話をよく聞こうとする子ども

○やさしさ

- ・人の痛みが分かる子ども
- ・相手の気持ちを考えようとする子ども
- ・人に愛情をもって接する子ども
- ・人の痛みを感じる子どもに
- ・弱い人に優しくできる子どもに

○自ら働く

- ・進んで働こうとする子ども
- ・ボランティア精神向上
- ・働くことの大切さを知っている子ども
- ・置かれた場で力を出そうとする子ども

○前向き

- ・明るい子ども、笑顔
- ・挨拶（積極的に）
- ・挨拶をする子ども
- ・気軽に声を掛ける

○夢

- ・将来のイメージをもって努力を続ける人
- ・夢をもって努力する子ども

○その他

- ・学ぶことに楽しさを見いだす子ども
- ・へこたれない子ども

(2班)

○挨拶

- ・明るい挨拶
- ・人と会ったらきちんと挨拶する
- ・元気な姿で挨拶

○声掛け

- ・笑顔で声掛け
- ・小学生（小さい子）の面倒を見れる

- 地域行事
 - ・地域（町内）行事への参加
 - ・ボランティア
- 伝統
 - ・伝統行事の伝承
 - ・文化への興味
- いたわり
 - ・他人をいたわる
 - ・仲間を大切にする
 - ・年上（目上）の人を尊重できる
- 全力
 - ・精一杯取り組める
 - ・部活動（大会）での活躍
 - ・将来どんな職についてもよいようにしっかり勉強する
- その他
 - ・防災
 - ・自分の考えをしっかりと話す
 - ・地域を自慢できる生徒
 - ・健康な生徒

【柴田委員】

今出た「地域が求める潟西中生の姿」をよく見ると、今、本校で取り組んでいることが、そのまま直結する。いい形で学校運営が進んでいるのではないか。

【加藤委員】

今日のような熟議をすることもよいことだ。
次は、どのような課題が出るか楽しみだ。

【佐藤勝委員】

以前中学生二人が人の命を救ったというニュースがあった。救急救命講習などでそういう技術を身に付けると、生徒の自己肯定感も高まることができると思う。
防災訓練は大変よいことだ。

【三浦委員】

4日間の職場体験は非常によいことだ。苦しい中でも汗を流して働くということは、校長先生が言っていたこれからますます求められるだろう「へこたれない子」を育てるには絶好の機会である。新規の職場を開拓したり、生徒たちへの事前事後指導も難儀だと思うが、きめ細かに先生方が頑張っていることがよく分かった。

【佐藤毅委員】

自分は、地域のよさを実感して、地域に誇りをもってというところにたくさんの意見を書いた。今出た意見を見て安心した。
もしよければ、家（かのん）でも職場体験を受け入れたい。

【村上委員】

今日の熟議の模造紙を、是非、子どもたちにも掲示して見せてほしい。
地域の人たちが、生徒たちにどのように育ててほしいと願っているのかということも教えてほしい。

【鈴木委員】

同時に、生徒からも、「どんな潟中生になりたいか」というものを取ってみると面白いだろう。